

1. はじめに

私はエアラインパイロットを目指している。そのため、卒業研究は航空関係を情報関係と結び付けたいと考えている。私は初めて空港を利用した時にいろんな手続きや空港内の施設に戸惑った。その時に総合案内所の人に案内を受けたが、時間もかかり具体的な説明や例は得られなかった。しかし、成田国際空港のホームページを見た時にすごく分かり易く、写真や具体例も書いてあった。このホームページはすごく役に立たったが、空港にいる時はパソコンやインターネットがないと使えない。空港内にもパソコンは設置されているが、構内に設置されているパソコンのほとんどがビジネスやメールやゲーム等の目的に利用され、長時間の利用も問題になっている。成田空港のホームページを応用し、タッチパネルを利用しながらこの端末機器の総合案内を空港構内のあちこちに設置すれば、空港は益々便利になり、快適に利用できると考えている。また、端末機の用途は総合案内のみと限定する事で、長時間の利用も減少すると考えられる。現在成田国際空港も e-airport の計画も進めているので、本研究も e-airport の一端を担えればと考えている。

2. 研究概要

表示ページは Internet Explorer を用いるが、HTML 文のみならずセキュリティの面や更新する時にも不便である。解決法としては PHP と Apache とデータベースを HTML と Flash 画像処理合わせて、ローカルサーバーを使って実行させる。本システムが提供する情報は入出国手続き、“空港アクセス”“便利な施設”“各店舗”である。キャンペーンがある時はその内容も各店舗のページに記載する。発着便や運航情報はデータベースを用いる。この事により、データ更新への対応および、欠航の場合の手続きや空港周辺の宿泊などの情報も含めた正確な情報の提供が可能となる。今現在はこういった情報や対策は航空会社別での案内のみとなっている。

Internet Explorer を用いると利用者がアドレスバーにてアドレスを変更する場合も考え、アドレスバーを非表示にし、フルスクリーンにし、制限をかける。キーボードやマウスを使わないとクライアント側のため、Windows のシステムに触れる事は不可能。発着便の検索はキーワードが必要なため、タッチパネルの画面上の電子キーボードを用いる事にした。

3. 結果

PHP の場合サーバー側にコンパイルするので、その結果クライアント側での処理（負担）は少ない。私達の生活の中にもタッチパネルは身近にあるものと言っても過言ではない。タッチパネルを用いる事で利用者にも親しみがあり、使い易いシステムとなった、またインターネット接続不可なので、長時間の利用も解消され、セキュリティの面でも強化されたと考える。

4. おわりに

プログラムの使い易さや見易さには満足している。ただし、現在のシステムは日本語のみとなっている。小泉前首相が提唱した観光大国「Yokoso! JAPAN」の構想により、英語、フランス語、スペイン語、アラブ語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）も使えるようにする事と本研究の検索システム（データベース）はフライト案内のみとなっているが、飲食店や店舗もデータベース化する。空港へのアクセスは現在未完成なので、完成させる事と Internet Explorer を使用しないで、Windows XP を OS として、Windows に入った直後にプログラム本体を起動し、オリジナルの表示ページを作る事を今後の課題として考えている。もし機会があれば是非、このシステムを使って見て下さい。

参考文献

- [1] 金城 俊哉：DreamwaverMX2004 第1版第1刷。2004.
- [2] 土屋 徳子：Macromedia Flash MX 2004 for Windows & Macintosh 初版第1刷発行。2004.
- [3] 松尾 好洋：よくわかる Macromedia® Dreamwaver® MX 2004 & Macromedia® Fireworks® MX 2004. 初版発行。2005.
- [4] ハーシー：速効! 図解プログラミング PHP+MySQL. 初版第3刷発行。2006.
- [5] 星野 努：いますぐ導入! PHP+MySQL で作る最速 Web システム. 初版第4刷発行。2005.
- [6] <http://www.narita-airport.jp/jp/>
- [7] <http://www.mlit.go.jp/koku/koku.html>